

II SSH 運営指導委員会の記録

【運営指導委員】(50音順) ◎委員長、○副委員長

氏名	所属等
市川 寛子	東京理科大学教養教育研究院野田キャンパス教養部准教授
伊藤 稔	東京理科大学大学院科学教育研究科長
高谷 直樹	筑波大学生命環境系教授
武若 聡	筑波大学システム情報系教授
○牧下 英世	芝浦工業大学工学部教授
村松 美一	龍ヶ崎市立龍ヶ崎西小学校長
◎吉瀬 章子	筑波大学システム情報系教授

【管理機関委員(教育庁)】

氏名	所属等
柳橋 常喜	茨城県教育庁学校教育部高校教育課課長
岡野 敏昌	茨城県教育庁学校教育部高校教育課副参事
津賀 宗充	茨城県教育庁学校教育部高校教育課指導担当課長補佐
西田 淳	茨城県教育庁学校教育部高校教育課指導主事
安藤 剛	茨城県教育庁学校教育部高校教育課指導主事

【校内委員】

氏名	所属等	氏名	所属等
太田垣 淳一	校長	大西 武彦	SSH部 副部長
高野 健二	全日制教頭	高橋 茂	SSH部、SSH嘱託事務員
川田 利行	全日制教頭	齊藤 宗一郎	SSH部、高校 第3学年 SSクラス担任
内川 美佳	附属中教頭	坂本 伸吾	SSH部、高校 第2学年 SSクラス担任
寺田 義弘	全日制教務主任	湯原 雄一	SSH部、高校 第3学年副担任
鹿野 英一	附属中教務主任	上久保 都生子	第1学年クラス担任(英語)
井川 裕司	進路指導主事	岡田 広	第1学年クラス副担任(国語)
諏訪原 和子	高校 第3学年主任	八代 菜乃葉	第1学年クラス副担任(保健体育)
本橋 隆志	高校 第2学年主任		
片岡 亜矢子	高校 第1学年主任		
中山 幸昭	附属中 第2学年主任		
山崎 孝夫	附属中 第1学年主任		
小林 徹也	SSH部 部長		
出雲 辰雄	SSH部 副部長		

令和3年度 第1回スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会の記録

(1) 第1回スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会の記録

- ア 実施日時 令和3年6月16日(水) 13:30~15:00
実施場所 茨城県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校 会議室
- イ 出席者 別紙参照
- ウ 運営指導委員議事
- (ア) 開会
1. 挨拶 主催者 西田 淳 指導主事〔茨城県教育庁学校教育部高校教育課〕
研究指定校 太田垣 淳一〔茨城県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校長〕
2. 委員の紹介
- (イ) 委員長・副委員長の選出
委員長：吉瀬 章子先生〔筑波大学システム情報系教授〕
副委員長：牧下 英世先生〔芝浦工業大学工学部教授〕
- (ウ) 協議〔議長：運営指導委員会委員長 吉瀬 章子先生〕
1. 生徒研究発表会について
(委員の先生方より)
- ・サイエンスを社会貢献へ。成果は小さいが、ユニークなところを見つける力がものづくりをする上で大切ではないか。
 - ・はじめてSSHの発表を見た。結論ありきの研究ではなく、自分の中から問題を見つける力を伸ばしてほしい。
 - ・いい「問い」を見つけることができれば半分以上の研究は終わっていると思う。
 - ・発表会において、SSH部長賞、学校長賞などの設定も面白い。
 - ・発表時間の6分は適切であったのか。今後、検討していきたい。
 - ・見せる・伝える発表への指導については、上級生や卒業生を活用してみてもどうか。
- (本校より)
- ・「テーマ決め」・「わかりやすいスライド作成」については、コロナの影響や学校行事の多忙さもあり、厳しいスケジュールの中で行動した結果として現状のような状況になってしまった。
 - ・多様な実験に対し、時間をかけて繰り返すのは厳しかったという声が生徒から聞かれた。
- (西田指導主事より)
- ・生徒の質問が良かった。発表会前に2年、3年合同のディスカッションがあってもいいのではと考えた。
2. 2期目3年目の取り組みについて
- ・「問う力」の再定義。10月末までの間で、教科内研究授業を実施
国語、英語、保健体育の先生よりプレゼンテーション。
- (エ) 閉会

令和3年度 第2回スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会

(1) 第2回スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会は以下の日程にて実施予定。

- ア 実施予定日時 令和4年3月16日(水) 13:30~15:00
イ 実施予定場所 茨城県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校 会議室